

古民家が日本を元気にする

Vol
45

未来の子供たちのために古民家で国を元気にしていく日本のリーダーの想いと、一般社団法人全国古民家再生協会各支部の活動をご紹介します。

参議院議員
竹内 真二 氏

1964年3月19日生まれ。千葉県立国府台高校、早稲田大学政治経済学部を卒業。公明新聞で政治部を中心に約30年間、記者生活を送る。2017年に参議院比例区で初当選、現在1期目。公明党遊説局長、団体局次長。党千葉県本部副代表。参議院では国土交通委員会に所属。



「地域の宝」が安らぎや新たな活力をもたらす

国会の参議院議員会館内にある竹内真二事務所には、古民家の古材を使った木箱や靴べらなど七点の木工品が展示してあります。昨秋、千葉県は甚大な台風被害を受けました。これらの作品は、被災した古民家の解体時などに生じた廃材を活用しています。

「再生された木工品を通して、古民家のすばらしさを実感してほしい」。そんな願いを込めて、千葉・南房総市の地で九代続く宮大工棟梁の石井正明氏（全国古民家再生協会千葉県連合会会長）が、木工職人の方に作製を依頼された

とのことでした。
千葉は古民家の数が多い県ですが、減少の一途をたどっています。昨年、訪れた鴨川市の茅葺き農家では、住民の方が「この辺りの古民家は、おばあちゃんの一人暮らしが多く、若い世代が受け継ぐ仕組みが必要です」と訴えられています。

全国的にも、人口減少や激甚化する災害被害などにより、「地域の宝」である古民家が年々、姿を消しています。残すべき古民家の減少に歯止めをかけられるかどうか。今がその分岐点だと痛感しています。

古民家に一度でも接する機会があれば、多くの人がその魅力を実感できるはずです。石井会長とご子息の良次氏（伝統耐震診断士、伝統再築士）に案内された瓦葺きの旧家の体験が忘れられません。

古民家には、先人が長年培った

一方で、伝統構法の耐震化技術後継者の問題をはじめ、災害時の解体・新築と補修に関する補助金の格差是正などの課題も指摘されています。本年が古民家再生にとって大きな一步となりますように、古民家再生協会の皆様と手を

携えて全力で取り組んでまいります。

知恵が詰まっています。古木を使つた安らぎや癒やしの空間が提供されているためでしょう。カフェやレストラン、宿泊施設として再生されるトリビート率が高い傾向があるとも聞きます。

千葉県では、「北総の小江戸」と呼ばれる香取市佐原で、商家や町屋が軒を連ねた街並みが地域に活力を生む源泉になっています。

大多喜町でも、三年半前に築約

古民家再生への取り組み

千葉県印旛郡酒々井町

酒々井町長メッセージ

1948年千葉県印旛郡酒々井町生まれ。早稲田大学教育学部理学科を卒業後、72年に千葉県土整備部河川計画課長などを歴任し、2005年12月酒々井町長に初当選。現在4期目。

酒々井町長
小坂 泰久 氏

1948年千葉県印旛郡酒々井町生まれ。早稲田大学教育学部理学科を卒業後、72年に千葉県土整備部河川計画課長などを歴任し、2005年12月酒々井町長に初当選。現在4期目。

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地の中央部に位置し、人口約2万1千人、総面積19・01km²、東西4.2km、南北6.2kmと小さく纏まとった町域となっており、千葉県で2番目に小さい町です。また、首都圏内には古民家の解体時などに生じた廃材を活用しています。

「再生された木工品を通して、古民家のすばらしさを実感してほしい」。そんな願いを込めて、千葉・南房総市の地で九代続く宮大工棟梁の石井正明氏（全国古民家再生協会千葉県連合会会長）が、木工職人の方に作製を依頼された

東京から50km圏内にあって、古い歴史と豊かな自然環境を有し、温暖な気候に恵まれています。一昨年の10月、約3万4千年前の日本最大級の環状ブロック群を有する墨古沢遺跡が国の文化財に指定されました。日本で一番古い町の歴史の始まりです。

町内には国の指定史跡、戦国時代、千葉宗家の本佐倉城跡や城下町の記録が残ります。また町名の由来は孝行息子が汲んだ水が酒になつたという「酒の井伝説」に由来します。延徳2（1490）年千葉宗家による町立、天正19（1591）年徳川家康の町割り、明治22（1889）年町村制施行と3度の誕生日があります。

更に、町内には1000を超える石仏と160を超す民話が残されており、民話の町でもあります。

会長メッセージ

全国古民家再生協会
千葉県連合会
会長
石井 正明 氏



〒295-0003
千葉県南房総市千倉町白子1672
TEL: 0470-44-2090
FAX: 0470-44-1411

酒々井町は、千葉県北部中央の印旛地域に位置しており、江戸時代から成田山新勝寺や芝山仁王尊の参詣による宿場町・酒々井宿として栄えた歴史を持つ町です。現在は、酒々井プレミアム・アウトレットが開業され、首都圏からの人々の往来が非常に盛んな町となりつつあります。そんな中、

その民話を町民参加で絵本を作成しています。

昨年8月末、歴史的景観の維持と空き家化の防止と古民家を活かしたまちづくりとして、古民家再生に多くのノウハウを持つ全国古民家再生協会と連携協定を結ぶことができました。町内に存在する古民家100棟余りについて、古民家再生協会のお力を借りて

地域の歴史的遺産を再生保存していければ地方創生の実現に結びつくものと確信している次第です。

酒々井町の歴史ある古い街並みを未来に残すために、2020年8月31日に酒々井町との包括的連携に関する協定を締結させていただきました。千葉県内で初となるこの協定は非常に大きな意味をもち、酒々井町だけでなく、今後の千葉県全体の活性化に資するものであると確信しております。

将来、この協定を結んでよかつたと自治体・地域の皆様に思っていただけるよう、古民家・空き家を活用した地域活性化に意欲的に取り組んでいきたいと考えております。